

先日の保護者参観懇談会では大勢の保護者の方にご参加いただき、ありがとうございました。普段の保育園でのお子さんの様子を見ていただいたり、園の雰囲気少しでも感じていただけたら幸いです。また、今年度は保護者の方同士の繋がりを深めるべく、そして保育園に積極的に関わっていただけるような工夫をしていきたいと考えております。その第1弾として、保護者や保育士のさまざまな声を募ってみんなで悩みや成長の喜びなどなんでもシェアできる『つばさシェア』の準備が整いました♪懇談会で話せなかったことも是非お気軽に投稿してみてください。縁あってつばさ保育園で一緒になった保護者の皆さんや保育士とこれからも一緒にお子さんの成長を見守っていきましょう。

<https://forms.gle/Wjx39p7U265GPSrS8> **投稿はこちらからどうぞ!**



- | | |
|----------------|------------------------|
| 3日(月) 乳児身体測定 | 20日(木) 避難・消火訓練 |
| 6日(木) 幼児身体測定 | 21日(金) お誕生会 |
| 11日(火) 防犯教室・訓練 | ※10:40~開始します
なかよし広場 |
| 12日(水) なかよし広場 | 28日(金) 交通安全教室 |

7月4日(木)、全園児対象の引渡訓練が行事予定で入っております。

引渡時間は15:45~17:30までを予定しています。後日詳細に関しては園内掲示と手紙で配信させていただきますので必ずご確認をお願いいたします。

なお年間行事予定では9月に予備日を設定していましたが、今年度は雨天決行しますので予備日はありません。

【子どもと動画視聴の上手なつきあい方について】 ★子育て支援だより★

手が離せない時の頼れる存在「動画」。子どもたちは動画を通じて新たな興味を抱いたり、既存の興味を深く探求することができますよね。一方でデメリットもあげられます。特に YouTube など短い動画は関連するコンテンツを次々と表示するため、子どもは時間を忘れて夢中になってしまい依存リスクも高まります。

そこで動画視聴のメリットをうまく享受するために今月号では視聴制限についてご紹介します!

○子どもと一緒にルールを作って管理

まずはお子さんと一緒にルールを作ることが大切です。例えば、朝の登園の準備を済ませてから家を出るまでは利用可能にしたり、帰宅後は1時間以内など視聴時間のルールを約束します。制限時間を守ってもらう対策としては、**タイマーの活用**があげられます。タイマーは残り時間が視覚的にわかり、子どもの自制心や時間感覚を養う観点でおすすです。また、タイマーのスタートボタンは子どもが押すことで、大人に一方的に言われたことではなく、約束に参加しているという認識になりやすくなります。お子さんの普段の様子・成長発達を見て守れそうな時間から設定していき、徐々に時間を短くしていけるといいですね★

○二人きりの約束にしない

ルールはお子さん二人きりではなく、ママパパそしてお子さんの三人や、または保育園の先生などを含めて決めることがおすすです! 「みんなで共有している約束・ルールである」にした方がより大切なことという気持ちが強くなるからです。

「動画」との向き合い方がでしたか? お子さんが約束を守れた時はおおいに認めることも大事です! ご家庭で楽しい会話やスキンシップの時間を増やしてみてくださいね♪

《保育目標》

- すみれ組 ○保育者との安定した関わりの中で、興味のあるものに触れたり体を動かして遊ぶ。
○食べることへの意欲を大切にしながら食事を楽しむ。
- つくし組 ○全身をつかった様々な運動遊びを楽しむ。
○簡単な言葉や身振りで友だちと関わることややりとりを楽しむ。
- たんぼぼ組 ○雨や水たまりなど身近な事象に触れながら、梅雨の自然に興味を持つ。
○保育者や友だちと関わって遊ぶ楽しさを味わう。
- ゆり組 ○自分の気持ちを言葉で伝えようとする。
○さまざまな遊具や素材に興味を持ち、遊ぶことを楽しむ。
- ばら組 ○ルールのある遊びのきまりを守りながら、友だちと楽しく遊ぶ。
○身近な自然に触れて、見たり遊んだりすることを楽しむ。
- ひまわり組 ○友だちとの関わりを深め、自分の思い伝えたり、相手の話を聞こうとする。
○梅雨の自然を知り、天気の変化や雲の動きなどに興味を持つ。



自律をはぐくむためにできること

昨年度の3月に『心理的安全状態が与える子どもの自立の育ちへの影響』という講演会を開催しました。タイトルを聞くと少し難しい内容な印象かもしれませんが、脳科学の視点から子どもたちの自律をはぐくむために大切にしたいことについてのお話でした。

私たちの脳は自然な反応としてネガティブに注意が向くようになってきているので、ポジティブな視点に切り替えていけるよう意識を向けてあげることが大切です。そのためなら親バカだって万歳！！その子の可能性を心から信じる存在であり続け、出来るところや得意なところに注目し、伝え続けていくことで大いにポジティブに意識が向いてくるはずです。

自律をはぐくむ上で大切にしたいことは、まず『**心理的安全を確保すること**』。心理的安全とは意識的な思考や注意、不適切な行動の抑制、感情のコントロールができる状態で、これが自律の前提条件となるためまずは落ち着けるようなサポートが必要です。「何で？」と聞くのではなく「どうしたの？」と聞いたり、一人ひとりの心理的安全は異なるため、抱っこを求めたりぬいぐるみを持ったりなど自分で自分の心理的安全を導ける子を育みたいものです。

2つ目は『**好奇心(興味関心)を止めない**』。モチベーションというのは『**トップダウン型**』(○○だから○○しようと、ゴールや目標達成のために意味のある行動をする)と『**ボトムアップ型**』(好奇心や興味、好き、気になるから動く)の2つがあり、子どもはボトムアップ型が多いと言われます。大人からすると目的や意義がないことに見えても、この行動や体験を通してドーパミンを出すことで脳が活性化されるのです。ドーパミンは記憶力アップ、集中力アップ、行動力アップと学びに欠かせないものなので、否定したり話しかけずに見守ることが脳の育ちには大切です。

3つ目は『**葛藤を止めない**』。葛藤は大切にしてきた情報と新たな情報との出逢い。過保護はもったいない！！まずいつでも応援者であることを伝え、**求められれば答えではなくヒント**を与えます。いくつかやり方を提示し、自分で考えた結論を導き、最後は「自分で感じ、考え、自分で意思決定」の経験を通して自分で自分の選択の責任を持てるようになります。“くやしい”体験をしたときは「この経験をばねにしよう」と共感することで子どもたちの成長の機会となるでしょう。

成功体験も良いですが、それより成長体験が子どもたちの自律には大切と言えるようです。結果を見て他者と比較するのではなく、過去の自分との比較が自律に繋がります。私たちはいつでも子どもたちの応援者！失敗は誰でも怖いことでネガティブに働いてしまう気持ちですが、きっと次は大丈夫！と背中を軽く押してあげしっかり見守っているからね、と伝えていくことで子どもたちのチャレンジしてみようのポジティブな気持ちに繋がっていくことでしょう。